

仲間とまた走りたい

須賀川一中・三浦さん、黒田さん



手作りのポスターを手に、プロジェクトへの協力を呼びかける黒田さん(左)と三浦さん

▲ 7月27日 福島民友新聞掲載

義足製作資金募る

仲間とまた共に走りしたい。須賀川一中2年の三浦香愛さんと黒田悠月さんは、病気で義足となった同級生のためにスポーツ用の義足を作りたいと、インターネットで資金調達を図るクラウドファンディング(CFD)に挑戦している。須賀川市出身の陸上選手相沢晃さん(学法石川高卒)も賛同するなど、支援の輪が市内外に広がっており、26日時点で目標額300万円の8割を超える約250万円が集まっている。

相沢選手も賛同

3人は共に同校のバスケットボール部と特設陸上部に所属。切磋琢磨しながら練習や大会で汗を流していた。しかし昨年夏、同級生が突然の病に倒れた。さまざまな治療を試みたが、今年1月、同級生は右足を失い、義足になった。三浦さんと黒田さんらは今月上旬、久しぶりに同級生と再会。同級生は前向き

にリハビリに取り組み、気持ちよく練習に参加している。三浦さん、黒田さん、相沢選手は、同級生を応援するために、義足製作資金を募りたいと決めた。同級生は「仲間と一緒に走りたい」と、相沢選手は「みんなで走りたくない」と、三浦さんは「仲間と一緒に走りたい」と、黒田さんは「仲間と一緒に走りたい」と、それぞれ思いを伝えている。三浦さんは「仲間と一緒に走りたい」と、黒田さんは「仲間と一緒に走りたい」と、相沢選手は「みんなで走りたくない」と、それぞれ思いを伝えている。三浦さんは「仲間と一緒に走りたい」と、黒田さんは「仲間と一緒に走りたい」と、相沢選手は「みんなで走りたくない」と、それぞれ思いを伝えている。

専用サイトに
つなげるQR
コード

三浦さんと黒田さんが、義足製作資金を募ろうと思ったのは、どのようなことからですか？

三浦さんと黒田さんは、ポスターを手にどんな思いを伝えていますか？

記事を読んでどのようなことを感じましたか。まとめてみましょう。